

テラセル® 擁壁工法〈ジオセル工法〉

NETIS掲載終了
KT-090023-VE

テラセル®擁壁工法とは、展開したテラセル®（ジオセル）に現地発生土や碎石を充填し、段積みすることで擁壁を構築し、切土のり面を保護する工法です。

●特長

1.高い耐候性・耐薬品性

テラセル®の原材料は高密度ポリエチレンを使用し、表面のシートには厚さ1.5mmのシートにテクスチャー加工(0.2mm)を施しているため、十分な耐候性を持っており、また、耐薬品性にも優れており、酸性土・アルカリ性土などのあらゆる土壌に適応します。

2.様々な中詰材の使用が可能

テラセル®はハニカム構造のため、中詰材を拘束することで現地発生土や碎石等の様々な中詰材を状況に応じて使用できます。

3.現地に応じた高い適応力と柔軟性

壁面勾配は1:0.1より緩く、壁高は8mまでの高さに対応可能で、現地の状況に合わせた曲線部の施工や勾配の変化も容易に対応できます。また、フレキシブルな材料のため、基礎コンクリートが不要で、ある程度の地盤の不等沈下にも追従します。

4.軽量でコンパクト

テラセル®擁壁工法に使用するテラセルは約4kg/枚と軽量なため、容易に運搬ができます。また、コンパクトな状態で納入されるため、材料の保管に広いスペースを必要としません。

5.簡単で素早い施工性

使用する部材が少なく、施工方法も展開・充填・転圧の繰り返し作業のため、施工期間の短縮が可能です。そのため、狭小な現場や災害復旧に能力を発揮します。また、コンクリートを使用しないため、養生期間が不要で工期短縮が可能です。

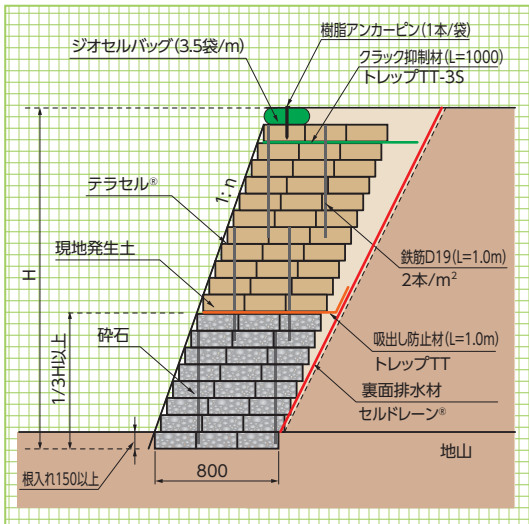
6.緑化が可能

植生可能な中詰材を使用することで、セットバックした部分への植生工や在来種の飛来による緑化ができます。



標準敷設図

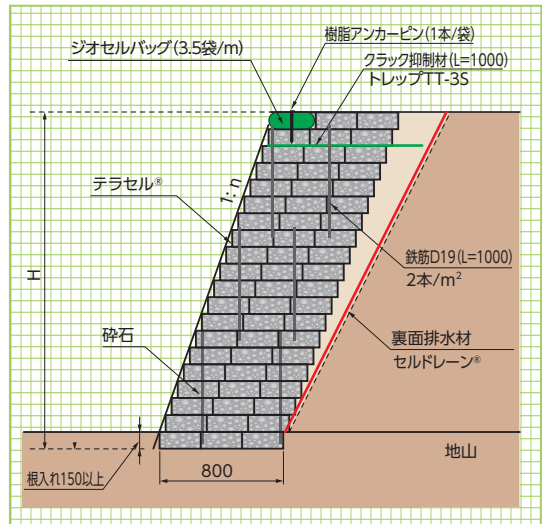
1/3碎石タイプ



適用目安

- ・壁高5m以下
- ・のり面緑化を必要とする場合
- ・現地発生土を利用する場合

ALL碎石タイプ



適用目安

- ・壁高5mを越える場合
- ・水辺で使用する場合
- ・路側擁壁で使用する場合

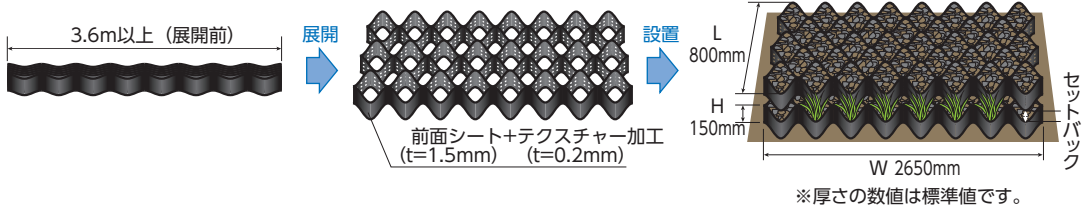
※上記構造を標準としますが、中詰材の対応、吸出し防止材の使用、鉄筋の長さ、根入れ深さなど現場状況に合わせたご提案をさせていただきます。

■ テラセル擁壁工法用 製品規格

セルタイプ	型 式	標準展開寸法 (mm)			参考重量 (kg)	カラー
		H	W	L		
3セルタイプ	TW-150M	150	2650	800	約4.0kg/枚	ブラック
4セルタイプ	TW-150M-CL4	150	2650	1067	約5.0kg/枚	ブラック
5セルタイプ	TW-150M-CL5	150	2650	1333	約6.0kg/枚	ブラック

※上記製品規格以外は、製品寸法、製品カラー等、特注生産になりますので、ご相談ください。

■ テラセル展開イメージ



■ テラセル荷姿

シート状でコンパクトにまとめられておりますので、材料置き場が省スペースですみます。



▼鉄筋



▼展開枠



▼単枠



① テラセルの展開

補助枠にテラセルを規定の大きさに展開します。



④ 土の撤出しと転圧

中詰材を撤出し転圧をおこないます。



② 基礎地盤の整地とテラセルの設置

展開したテラセルを所定の勾配に設置します。アール施工、折れ施工はコーナー部用の補助枠を使用し、設置します。



⑤ 補助鉄筋の打設

上下の一体化を高めるため、6段(90cm)ごとに2本/mの鉄筋D19(L=1.0m)の鉄筋を打設します。



③ テラセルの接続

テラセル同士は接続ビスとセルロックでジョイントします。



▼接続ビス



⑥ ジオセルバッグ(土のう)の設置

天端保護のためジオセルバッグを樹脂アンカーピンで固定し、完成です。



管渠類
地下雨水貯留製品
擁壁類
側溝類
道路用製品
河川用製品
農用製品
景観製品
その他

製品規格
形状・寸法
重量
展開イメージ

荷姿

施工手順